

理 科 (2 学 年)

週時間数 4 時間

1 学習の手引き

使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・ノート ・ワーク 	持 ち 物	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・ノート (A4) ・ワーク (本体・解答・解説)
学習の 進め方	学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題の確認と解決を通して以下の力を養う。 ①実験を通して技能を高め、結果から考察を行い思考力を高める。 ②問題演習を通して思考力を高める。また、作図やグラフの作成を通して技能を高める。 ③講義による知識の確認や、授業の終わりにまとめを行い、知識の定着をはかる。 	
	家 庭	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の課題で終わらなかった部分を終わらせる。 ・テスト勉強 ・自由研究 (夏休み) 	

2 学習の内容

学期	月	題材 (学習する時間)	学習内容	備考 (評価のもの)	
前 期	4月	・物質の成り立ち	・ (熱、電気) 分解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業で提示された課題 ・ 定期テスト ・ ノート ・ 振り返りシート ・ ワーク ・ 自由研究 	
	5月	・ いろいろな化学変化	・ (金属の) 燃焼、還元		
	6月	・ 化学変化と熱の出入り	・ 発熱反応、吸熱反応		
	7月	・ 化学変化と物質の質量	・ 金属を加熱したときの質量の変化		
			・ 金属の硫化・化学式、化学反応式		
			・ (単細胞、多細胞) 生物の顕微鏡観察		
		・ 光合成、蒸散、気孔			
		<夏休み> 自由研究			
	9月	・ 植物のからだのつくりとはたらき	・ 唾液の消化酵素のはたらき		
	10月	・ 動物のからだのつくりとはたらき	・ 毛細血管・刺激と反応		
後 期	11月	・ 電流と回路	・ 回路を流れる電流の大きさ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業で提示された課題 ・ 定期テスト ・ ノート ・ 振り返りシート ・ ワーク 	
	12月	・ 電流と磁界	・ 電圧の大きさ・電流と電圧の関係		
			・ 電力と熱量の関係・電流と磁界の関係		
		<冬休み>			
	1月	・ 電流の正体	・ 電磁誘導・電気力		
		・ 気象観測	・ 気象観測・天気図の読み取り		
2月	・ 気圧と風	・ 露点の測定・雲のでき方			
3月	・ 天気の変化	・ 湿度、飽和水蒸気量の関係			
		・ 日本の気象	・ 日本の気象の特徴		

3 評価の観点と内容・方法

観 点	内 容	方 法
知識・技能	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	定期テストや、授業中で提示された課題を総合的に判断し、評価する
思考・判断 ・表現	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	定期テストや自由研究、授業中で提示された課題を総合的に判断し、評価する
主体的に学 習に取り組 む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、粘り強く試行錯誤して、自らの学習を調整しながら、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	定期テストや自由研究、活動時の取り組みや授業中で提示された課題を総合的に判断し、評価する